

浜松市 まつばこども園 園長 山田佳敬先生

今回、西部地区「ぶらんこ」で訪問取材をさせて頂いた園は、浜松市中区に今年度から開園した「まつばこども園」さんです。

住宅に囲まれた地区に創設するという事で、地域に受け入れられるように、設計には近隣の方の意見も取り入れたということで、その取り組みも評価され、第一六回キッズデザイン賞を受賞することができたということでした。



はなく、中に数字やマーク等が隠されており、飽きさせないものになっています。他にもダンゴムシやカブトムシの絵が園内のあち

一階にはランチルームがあり、その壁には大きなキリン、ゾウ、シマウマ等の絵が描かれています。子どもたちが、毎日楽しく登園できるように設置したそうで、ただの絵で



やり抜く子」で、子どもたちが「あそび」や「生活」を通して達成できることを目指していくということでした。

業務省力化のために積極的にICT化を進めており、全員にタブレットを支給し、登降園管理、保育日誌、連絡帳、情報共有等をウェブ上



ここに隠されていて、探検を楽しむことができるようになっていました。

保育には、担当性保育と異年齢保育を取り入れているということでした。

保育目標は「優しく元気」で、最後まで



のシステムで行なっているということでした。

現在勤務している職員二十三名の内、十八名が新たに雇用した人ということ

るのですが、各クラスに設置されたカメラの映像を職員室で見ながら子どもの成長や保育教諭の関わりについて意見交換をする園内研修を行なっており、少しずつでも保育の質を向上させていきたいということでした。

最後に、開園したばかりにも関わらず、快く取材に協力していただいた園長先生をはじめ、職員の皆さんにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

